

金色の雪が降る

松下 幹生

早朝の 飛驒の山中 踏み入れて
雪中行軍 息切らしつつ
ふと仰ぎ見る 木漏れ陽が
黄金に光り 射し込んで
降り落（お）つ雪が 金色に
舞い散る様が 豪華絢爛
舞台のような 艶（あで）やかさ

山肌の 膝まで埋まる 雪の中
崖の瀑氷（ばくひょう） 一目見たくて
人里離れ 峠路
滝を目指して 森深く
凍りつく滝 見るために
来たはずなのに 目を奪われた
黄金色降る 後光雪

時を忘れて 見上げてる
朝陽に映える 黄金雪
静けさの中 一人占めして
記憶に留め 山降りる